

# これからの高齢者住宅と コミュニティビジネスを考える部会

部会長 岩尾 聡士

名古屋大学大学院経済学研究科 教授

幹事 堀 心一

高齢社会街づくり研究所株式会社 研究員

## 背景・目的

地域の住民が安心・安全の老後を過ごすためには住環境（ハード）とケア（ソフト）が欠かせません。そこで当部会ではまず高齢者住宅やケアに関して知見を深めます。

そして、高齢者住宅が増加し、整備されると高齢者を中心とした一つのコミュニティ（街）が形成されます。そこには高齢者に合う衣（医）、食、住、商品・サービスが必要となります。それを部会メンバー全員で考えていきます。

世界に先駆けて超高齢社会となった日本ではこれまで以上に持続可能なビジネスモデルの構築と斬新な発想が不可欠です。部会メンバー間の交流を深めこの課題に取り組みましょう！

# これまでの活動報告

## 第1回 プレ会合

1. 部会長・幹事挨拶
2. メンバー紹介 自社のPR
3. 高齢者住宅・コミュニティビジネスに関する意見交換
4. 今後の部会の進め方について

## 第2回 『高齢者住宅のハード（施設、設計、設備）について考える』

参加者全員で「高齢者が安心・安全に過ごせる住環境を考え、共有する」ことを目的に20名でディスカッションを行いました。

### 《ミニ講義》

- ・高齢者の特徴、身体的特性、かかりやすい疾患
- ・日常の動作
- ・日常生活の場面

## 第3回 『高齢者住宅のQOLを向上させるケアについて考える』

参加者全員で「高齢者が安心・安全に過ごせる住環境を考え、共有する」ことを目的に21名を2班に分け高齢者のQOL（クオリティオブライフ＝生活の質）に関するワーキングを行いました。

### 《ミニ講義》

- ・QOLとは
- ・これからの高齢者住宅で求められる機能
- ・サービス付き高齢者向け住宅で提供されるサービスについて
- ・介護サービスで実施されているケアの内容
- ・高齢者向け食事、グリーンケア、メイクセラピーの紹介

# 次回の活動

## 第4回コミュニティ部会

**3月15日**16時～18時

【場所】名古屋大学 東山キャンパス

(〒464-8601 名古屋市千種区不老町)

経済学部棟4階 演習室18、19

## 『高齢者疑似体験プログラム』

高齢者疑似体験グッズをつけることによって、

- ① 高齢者の心を推察すること
- ② 介助者の役割を理解すること
- ③ バリアフリーの環境づくりを進めることを目的とします。

# 問い合わせ・お申込み

- ① 企業名
- ② 住所(郵便番号)
- ③ TEL, FAX
- ④ 参加予定者(役職、名前、携帯TEL)
- ⑤ 参加予定者メールアドレス
- ⑥ 新ヘルスケア産業フォーラム会員番号

\*新ヘルスケア産業フォーラムの会員のみ参加が可能です。

以上をメールにて **部会幹事 堀心一** までご連絡ください。

[hori@successssful-aging.jp](mailto:hori@successssful-aging.jp)